

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年12月14日発行

— 2017.12.4～ 2017.12.10 — 第49週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼				第46週	第47週	第48週	第49週
水痘		9 0.90	6 1.20				11 5.50	20 0.74	46 0.78	1,099	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	1 0.20							2 0.07	3 0.05	590				
百日咳									0 0.00	10				
感染性胃腸炎	32 6.40	41 4.10	27 5.40	9 4.50	10 3.33	53 10.60	2 1.00	277 10.26	451 7.64	14,244	◎	◎	◎	◎
手足口病		3 0.30				19 3.80		53 1.96	75 1.27	7,676	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	2 0.40						2 1.00		4 0.07	230				
突発性発しん	1 0.20	7 0.70	2 0.40		2 0.67	4 0.80	1 0.50	14 0.52	31 0.53	1,544	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	1,038				
インフルエンザ	43 5.38	57 3.80	67 8.38	1 0.33	34 6.80	51 6.38	3 0.75	275 6.25	531 5.59	28,894	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	10 2.00	3 0.30	5 1.00	2 1.00				19 0.70	39 0.66	1,640	○	○	○	○
流行性角結膜炎						1 1.00		3 0.50	4 0.33	151				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32 6.40	25 2.50	24 4.80	5 2.50	6 2.00	28 5.60	2 1.00	58 2.15	180 3.05	6,998	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	3				
無菌性髄膜炎									0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00		2 2.00		1 0.20	4 0.33	296				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	12 2.40	5 0.50	2 0.40					38 1.41	57 0.97	2,485	○	○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	51				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	11	2	2		1	1	1	8					
	川崎病								1					
	不明発しん症								1					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 女性2名(第48週)
栗原管内 女性1名
仙台管内 男性2名

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 女性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

大崎管内 男性1名
仙台管内 男性1名、男児1名※
風しん
塩釜管内 男性1名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[水痘]

気仙沼管内で注意報値を超えた

[手足口病]

石巻管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例より

石巻管内 第49週採取分 インフルエンザウイルスB型 4件

インフルエンザ患者より

塩釜管内 第48週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中 間 報 告		
	確 定	中 間 報 告	
	第46週採取分	第47週採取分	第48週採取分
	(11.13～11.19)	(11.20～11.26)	(11.27～12.3)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	1件	1件	2件
インフルエンザウイルスA(H3)型	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	1件	2件	1件
RSウイルス	2件	5件	7件
エンテロウイルス	1件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件
サイトメガロウイルス	1件	0件	2件
パラインフルエンザウイルス(1型)	1件	3件	3件
パラインフルエンザウイルス(3型)	0件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス(4型)	2件	1件	0件

* RSウイルスの分離が多い状態が続いています。

** インフルエンザウイルスが継続して分離されています。

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

県内の定点からの患者報告数は6週連続で増加しています。患者からのインフルエンザ検出状況は、A(H1)pdm09型、A(H3)型やB型が検出されています。今後さらに流行が拡大する可能性がありますので、帰宅時のうがい・手洗いの徹底、マスクの着用で咳エチケットを行うなど、引き続き感染予防に努めてください。

【侵襲性肺炎球菌感染症】

通常、呼吸器の病原菌である肺炎球菌が他の臓器に侵入し、髄膜炎や菌血症など重篤な症状を呈する場合は「侵襲性肺炎球菌感染症」と呼びます。県内の今年の患者数は44例となっています。予防には肺炎球菌ワクチンが有効であり、平成25年4月から小児を対象として、また、平成26年10月からは高齢者を対象にワクチンの定期接種が開始されています。積極的に活用して予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

